

厚 企 画 号
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 様

北海道勇払郡厚真町京町 120
厚真町長 宮 坂 尚 市 郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、国道企第 37 号により依頼のありました道路行政の意見・提案につきまして、別紙のとおり回答いたします。

まちづくり推進課企画調整グループ

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 厚真町

【要望】

① 安定的な道路整備財源の確保

- ・ 地方の町の舗装率は、全道の平均でまだ60%程です。車が通れば砂埃で洗濯物も外に干せないのが実情です。道路改良・舗装の補助や交付金制度の継続はまだまだ必要です。
- ・ 高速道路や高規格幹線道路が接続され、都市と地方を結ぶ高速道路網が出来て本当の意味でのネットワーク形成となります。費用対効果も重要ですが、北海道は高速道路網の整備が遅れており、最低限の利便性の確保は必要です。
- ・ 道路特定財源は廃止し、21年度から一般財源化する閣議決定をしているようですが、税は自動車を利用している人が揮発油税や自動車重量税を支払い、更に暫定税率により嵩上げ分まで支払っているわけで、一般財源化となると国民の税負担の公平性に問題があります。

② 新たな補助制度の創設

- ・ 生活道路の新設・改良も必要としていますが、市町村では舗装補修の補助制度が無いため、舗装のオーバーレイや段差解消などが進まず、交通安全上、危険な箇所が多数あります。このような箇所の解消を図るための補修に対する交付金的な補助制度を要望します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道 厚真町

○現状

- ① その他路線の交通量の少ない民家の前はまだ砂利道で、当町の町道舗装率はまだ 60%と低い。
- ② 当町は泥炭や粘性土の地帯で地盤が悪く、水溜りや工作物箇所の段差が多く、交通安全上からも危険な箇所がある。
- ③ 昭和 50 年前後に架換された橋梁が 90 橋以上あり、それらが 30 年以上経過して補修の時期になるが、財源が無いため手を付けられないので、このまま放置すれば危険になる。(15m以上 34 橋、15m以下 63 橋)
- ④ 当町は道道の路線が多く、旧規格の特四タイプの舗装のため、路盤や舗装厚が薄いため轍掘れが多い。また、旧規格のため路側帯が狭く危険である。

○課題

- ① 何とか民家に通じる町道は舗装化をしたいが、一車線道路の補助基準が費用対効果も含め難しいものがあるので、補助や交付金制度での支援が必要である。
- ② 市町村には補修やオーバーレイの補助制度が無いため、一箇所に数千万単位の補修には予算が回らない。交付金など補助制度が必要である。
- ③ 一斉に補修の時期が来るが、補修の財源確保が出来ない。新たな補助制度の創設など早急な対策が必要である。
- ④ 車の大型化が進んでいるが、路側帯が狭いため大型車と交差するときは非常に危険である。計画的な改築が必要である。

②－２ 地域の目指す将来像

北海道 厚真町

- 安全・快適な生活環境整備の一環としての生活道路、アクセス道路網の整備
 - ・ 住宅地の環境整備の一環として、町道の計画的な整備を進め、快適で暮らしやすいまちづくりを目指します。
 - ・ 当町は、国道が少ないため道道が主要幹線道路であるが、旧規格で幅員も狭く急な曲線も多いので、これらの路線の早期の二次改築を進めたい。
 - ・ 厚真町から中核都市である苫小牧市への短絡道路である苫小牧厚真通は、昭和 57 に都市計画決定していますが、現在も開通されておりません。
苫小牧厚真通が開通すると約 4.9 k m 近くなり、緊急医療や通勤・通学など利便性が良くなり、厚真町や胆振東部地域の発展のため、相当の効果が期待されておりますので、道道に昇格して整備を進めたい。
- 産業開発道路など幹線道路の開通による産業の活性化
 - ・ 北進平取線の全線早期開通や、接続する上幌内早来（停）の厚幌ダムによる付け替えを含めて、既存区間の交通安全対策などの改築整備を進めたい。
 - ・ 開発道路、夕張厚真線は現在中止になっておりますが、苫小牧港東港と空知・上川からの R452 や十勝・釧路からの R274 と夕張 IC と直結する路線で、既存道路より約 19 k m の短縮となります。
東港には新日本海フェリーや国際コンテナの埠頭も移転し、自動車関連産業の立地も多く、将来に向けて必要となる重要な路線と考えます。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道 厚真町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・厚真浜厚真（停）線の改築	・ 厚真の玄関口である高規格日高道厚真 IC から上厚真市街地へ通じる道路で、旧規格のため幅員や歩道も狭く、路盤厚も薄いため轍も多く危険である。 ・ 苫小牧港東港にフェリーや国際コンテナ埠頭が移転し、大型車の混入が多く危険である。 ・ 玄関口のイメージアップ、通学路でもあり歩行者の安全性や大型車の交差が容易となり、安全な交通の確保が出来る。	・ 厚真 IC の出口 ・ IC から港への直結道路 ・ R234（空知地域）から港への短絡道路
・産業開発の促進	・苫小牧厚真通の新設	・ 厚真町から中核都市の苫小牧市への短絡道路で、約 4.9 k m 近くなり、緊急医療や通勤・通学など利便性の効果は非常に高い。 ・ 北進平取線と接続する路線で、むかわ町及び日高管内、道東から苫小牧方面への最短のアクセス道路となり、輸送コスト縮減効果がある。	・ 苫小牧東部工業地域を横断 ・ 道道に昇格必要
	・北進平取線の早期開通	・ 日高管内から苫小牧市などへの産業開発道路で、豊富な森林資源の開発や農林業などの産品を輸送する主要な路線となる。	・ 沿線に厚真ダム・厚幌ダム（建設中）
	・上幌内早来（停）線の改築	・ 北進平取線が接続する路線だが、現況が旧規格で幅員が狭く歩道も無く、急な曲線も多い。また、路盤厚も薄いため轍も多く危険である。 ・ 近年には厚幌ダムの建設工事も始まり、資材や労働者などの輸送に必要な重要な路線である。	・ ダムは平成 28 年完成予定
	・夕張厚真線の整備再開	・ 苫小牧港東港と R452（空知・上川）、R274（十勝・釧路）、道央道とを直結する路線で、既存道路より約 19 k m 短縮になる。 ・ 東港には新日本海フェリーや国際コンテナ埠頭が移転し、港の国際競争力の強化のために将来重要な路線となる。	・ 夕張 IC ・ 東港フェリー、コンテナ埠頭